

山形県にゆかりのある^{かなやまへいぞう}金山平三（1883-1964）とその親友であった^{さたけとく}佐竹徳（1897-1998）の絵画を紹介します。

世俗を離れ、日本の風土と四季に主題を求めた金山平三と佐竹徳は、14歳の年齢差を超えて互いに尊敬し、心を許す仲でした。その交流は金山が没するまで40年余りにわたり、彼らはそれぞれに、また時に同行して、季節とともに変化する光と風の行方を追い、東北地方をはじめとする日本各地におもむき制作を重ねました。

晩年には、金山は山形県の大石田に移り住み、佐竹は岡山県の牛窓にアトリエを構え、ふたりとも壮麗な自然をカンヴァスに写し取りました。佐竹は大石田の金山のもとを幾度か訪ねており、山形県内では鶴岡の三瀬にも出かけて制作しています。ふたりは画壇における周囲の評価を気にすることなく、自らの絵画への信念を貫いた制作態度をとっており、彼らの作品は共通して品格と調和に満ちた作風となっています。

本展覧会では、山形県や東北地方を描いた油絵を含め、高潔な精神のもとに生み出された金山平三と佐竹徳の作品約90点を展覧します。

観覧料

| | |
|-------|-------------|
| 一般 | 700 (560) 円 |
| 高大生 | 420 (340) 円 |
| 中学生以下 | 無料 |

※()内は20名以上の団体料金です。

※障がい者手帳をお持ちの方は半額です。
なお、1名につき介助者1名は無料です。

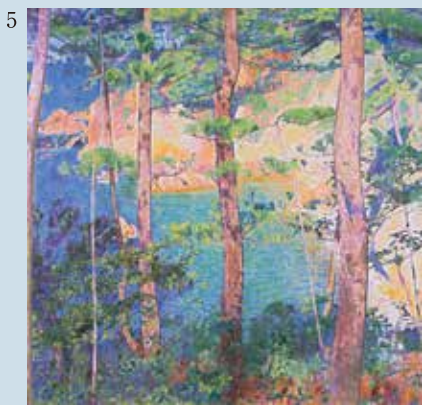
鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051
E-mail:info@t-artforum.net URL:https://www.t-artforum.net



※お車でお越しの際は、荘銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄です(無料)

【アクセス】 ■自動車：高速山形自動車道・鶴岡ICより、鶴岡市役所を目指して約10分／ ■バス：JR鶴岡駅より「052系統 市内循環 Aコース 左回り」「053系統 市内循環 Bコース 右回り」「055系統 市内循環 Cコース 右回り」「032/033/034系統 湯野浜温泉行」「061系統 あつみ温泉方面行」のいずれかに乗車し、「アートフォーラム前」または「市役所前」バス停で下車。(約10分)



1. 金山平三《ヴェトゥイユ》油彩・紙
 2. 金山平三《秋桜》1917-34年、油彩・カンヴァス
 3. 金山平三《大石田の夏》1945-56年、油彩・カンヴァス
 4. 金山平三《東北地方の春》1929年、油彩・カンヴァス
 5. 佐竹徳《志摩の海》1951年、油彩・カンヴァス
 6. 佐竹徳《オリーブの丘》1963年、油彩・カンヴァス
 7. 佐竹徳《雪（十和田湖）》油彩・カンヴァス
 8. 佐竹徳《牛窓》1978年、油彩・カンヴァス
- ※すべて笠岡日動美術館蔵

会期中のイベント

学芸員によるギャラリートーク

当館学芸員が、展覧会場を巡りながら展示されている作品について解説します。
日時◇4/23(木)・4/26(日)・5/5(火・祝)・5/17(日)・5/28(木) 14:00～(1時間程度)
参加料◇無料 ※ただし、観覧券が必要です。
申込◇不要。当日、エントランスホールにお集まりください。

展覧会関連企画・美術講座 野外で絵を描こう

スケッチや水彩絵の具などの技法を学び、実際に野外へ出かけて絵を描きます。
日時◇全2回 5/13(水)・5/20(水) 10:00～12:30(2時間半)
講師◇百瀬 幸氏(白鷺社会員) 対象◇大学生以上 定員◇先着10名
費用◇2,000円(受講料1,000円/教材費1,000円) 持ち物◇水彩絵の具など
申込受付◇4月18日(土)～ 9:00～19:00
※定員に達し次第受付終了、休館日を除きます。
申込方法◇館内受付にて費用を添えてお申込み(電話受付可)

【喫茶のご案内】
「フォーラムカフェ
クルール」
展覧会開催中は営業
※臨時休業の場合もあります。メニューなど、詳細についてはホームページをご確認ください。
時間 10:00～16:00
(ラストオーダー15:30)